



PHARMACEUTICAL MATERIALS

医薬品原料 <原薬／医療材>

ハイコールジェル®



医薬品添加物規格 ゲル化炭化水素 (Hydrocarbon Gel)

ハイコールジェル® は、炭化水素系軟膏基剤です。
一般的に使用されている軟膏基剤と比べて、さまざまな点で優れた特性を持っています。

● 性状

本品は無色～微黄色半透明の軟膏よう物質で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがあり、味はしません。

本品は水又はエタノール(95)にほとんど溶けません。

本品はジエチルエーテル又はキシレンに混濁して溶けます。

比重 d_{20}^{20} : 約 0.88〔油脂試験法の比重(2)を準用する〕。

● 規格

試験項目		規格値	試験方法
確認試験	(1)	明るい炎をだして燃え、パラフィン蒸気のおいを発する。	薬添規
	(2)	赤外吸収スペクトル測定方法の薄膜法により測定するとき、波長 2910cm^{-1} 、 2850cm^{-1} 、 1460cm^{-1} 、 1380cm^{-1} 及び 720cm^{-1} 付近に吸収を認める。	薬添規
純度試験	(1)酸又はアルカリ	5分間加熱した後、激しく振り混ぜるとき、赤色を呈しない。 水酸化ナトリウム液を加えて振り混ぜるとき、赤色を呈する。	薬添規
	(2)重金属	10 ppm 以下	薬添規
	(3)ヒ素	2 ppm 以下	薬添規
	(4)遊離流動パラフィン	0.2% 以下	薬添規

● 参考値

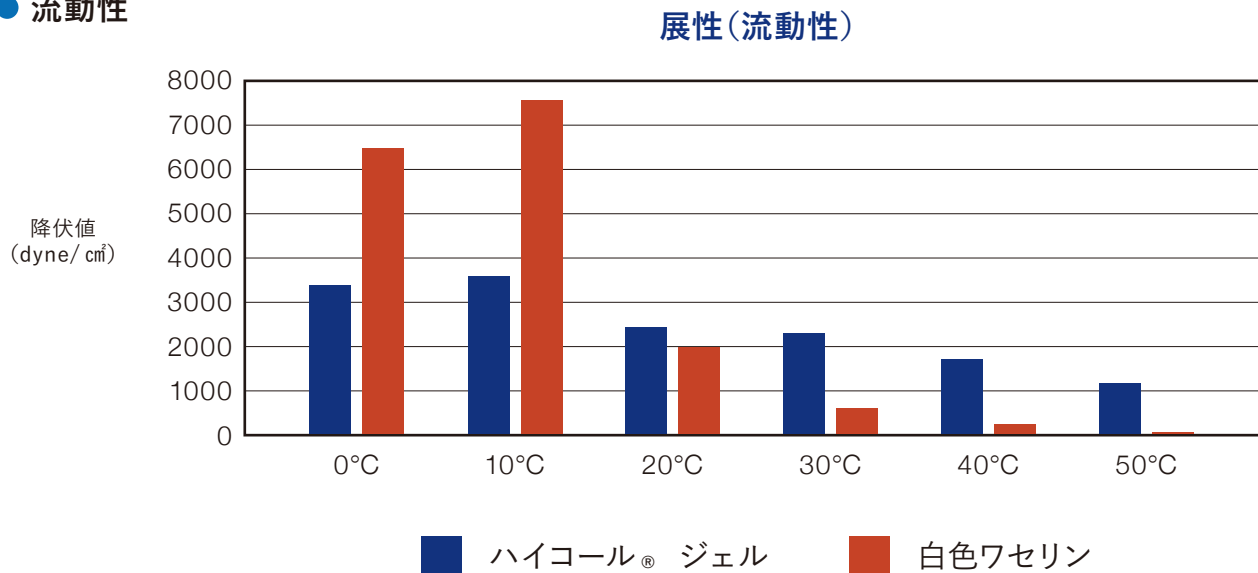
試験項目	参考値	試験方法
ちょう度 25°C	280 ~ 340	社内法

● 消防法分類 指定可燃物 可燃性固体類

● 荷姿 缶 17kg / ドラム 80kg

1 温度変化によって、ちょう度の変化が少ない。

● 流動性



白色ワセリンは低温時により硬く、高温時により緩く、温度の変化に比例して展性も増減しますが、ハイコール ジェル® は白色ワセリンと比較して展性の増減の幅が抑えられ、より安定した物性を示します。また、各温度における経時変化に関しても非常に安定的です。

2 化学的にきわめて不活性な物質です。

3 無色、無臭、中性で皮膚に刺激性を示しません。

ハイコール ジェル® は、添加剤(グリセリン脂肪酸エステル)を加えることによって、親水性を付与する事ができます。薬添規「親水ゲル化炭化水素」

⚠ 使用上の注意

ハイコール ジェル® を薬物の混和又は希釈のために融和点(約 95°C)以上に加熱する事は、ハイコール ジェル® の構造を破壊し、その特長の大部分を失わせる事になりますのでご注意ください。

開封時の注意事項

- 開封時に、容器に付着している異物を吸い込んでしまう恐れがあります。
- 開封する際には、蓋周辺に付着しているゴミや異物を清浄な不織布等でふき取って下さい。
- 本製品の開封は、蓋の片側を押さえてもう一方をゆっくりと持ち上げて下さい。

取り扱い上の注意

- 静電気対策を行い、作業者の靴等も導電性の物を使用して下さい。
- 本品は常温で取扱うものとし、その際は水分・きょう雑物の混入に注意して下さい。
- 皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合は、不浸透性の保護手袋及び保護めがね(完全に密着したゴーグルタイプ等)の保護具を着用して下さい。
- ミストや蒸気(ガス)が発生する場合は、呼吸器具等を着用して吸入しない様に注意して下さい。容器を、溶接・過熱・穴あけまたは切断しないで下さい。
- 熔融物は高温で皮膚に触れると火傷をする恐れがあります。必要に応じて保護具を着用して下さい。

保管上の注意

- 熱・スパーク・火炎並びに静電気蓄積を避けて下さい。
- 直射日光を避けて、室温の換気の良い場所に、必ず密栓して保管して下さい。
- 消防法上の指定可燃物可燃性固体類として、市町村の条例に従って下さい。

応急処置

- 眼に入った場合は、直ちに清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、水と石鹸で十分に洗って下さい。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受けて下さい。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗って下さい。

廃油・廃容器の処理

- 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

適用法令

- 消防法：指定可燃物可燃性固体類
- 水質汚濁防止法：油分排出規制(許容限度 5mg/L)
- 海洋汚染防止法：油分排出規制(原則禁止)
- 下水道法：鉱油類排出規制(許容限度 5mg/L)
- 棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制(拡散、排出の禁止)